



小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2017年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	「ヘンリー・ブラウンの誕生日」  エレン・レヴァイン 作 カディール・ネルソン 絵 千葉 茂樹 訳 鈴木出版	どれいは人間ではなく物としてあつかわれ、お金で売り買いされていました。そんな生活からぬけ出だそうと、ヘンリーは自分を小包にして送り、だっしゅつをこころみますが……。1800年代のアメリカで、本当にあったお話です。
絵本	「おばあさんのしんぶん」  松本 春野 文・絵 岩國 哲人 原作 講談社	どうしても新聞が読みたかったてつおが新聞配たつを始めると、あるお年よりのふうふが新聞を読ませてくれるようになりました。時がすぎて、おじいさんもおばあさんも死んでしまってから、てつおは思いもよらなかった事を知ります。実話をもとにしたお話です。
絵本	「これから戦場に向かいます」  山本 美香 写真と文 ポプラ社	目をおおいたくなるような戦場での出来事も、つたえることで、いつか何かがかわるかもしれない…。2012年にシリアでなくなったジャーナリスト山本美香さんのメッセージを、写真とともにしようかいています。
図書	「ねこの風つくり工場」  みずの よしえ 作 いづの かじ 絵 偕成社	町からすこしはなれた小高いところに、一日中いそがしい音を立てている工場があります。この工場の中では、町に住んでいるねこたちが、いろいろなざいりょうを使いながら、町をふきわたる風を作っていました。
図書	「バアちゃんと、とびっきりの三日間」  三輪 裕子 作 山本 祐司 絵 あかね書房	小学5年生の祥太(しょうた)は、のんびりすごしたかった夏休みに、3日間だけバアちゃんをあずかることになってしまいます。そのせいで、祥太は遊びにも旅行にも行けなくなるのですが……。あつくて長い夏休みの三日間です。

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
図書	「食べているのは生きものだ」  森枝 卓士 文・写真 福音館書店	わたしたちは何かを食べる時に、生きものの命をいただいているという実感がなく、くらしています。血となり肉となって、生きる力をあたえてくれたたくさんの命のことを、あらためて振り返ってみませんか？
図書	「かわいいゴキブリのおんなの子 メイベルのぼうけん」  ケイティ・スペック 作 おびか ゆうこ 訳 大野 八生 絵 福音館書店	すてきなうちのれいぞうこの下でくらす、かわいいゴキブリの女の子メイベルは、三つのおきてをかたく守りながら、おとなしくくらしています。でもおいしいぼうのメイベルは、いつもキッチンに出ていってしまうから、大さわぎ！
図書	「犬をかうまえに」  赤羽 じゅんこ 作 つがね ちかこ 絵 文研出版	犬がほしい小学4年生の空斗(くうと)。でも家ではどうしても犬がかえません。そんな空斗に、「犬のさんぽボランティア」をやってみないか、という話がまいこみました。かいまさんのかわりに、犬のチャッピーをさんぽさせることになりましたが……。
図書	「わたし、がんばったよ。」  岩貞 るみこ 文 松本 ぷりっつ 絵 講談社	4才で白血病(はっけつびょう)にかかり、5才の時に、しゅじゅつをうけた美咲ちゃん。にがい薬も、いたいちゅうしゃもがんばってたえながら、病気をのりこえた女の子のお話です。本人がえがいた絵本ものっています。
図書	「あしながおじさん」  ポプラ世界名作童話18 J.ウェブスター 作 石井 睦美 文 あだち なみ 絵 ポプラ社	親を知らずにそだったジュディーは、見知らぬ「あしながおじさん」に大学へ進学させてもらうことになり、毎日のうれしいこと、楽しいことを手紙につづり始めました。世界中で読みつがれた名作です。